



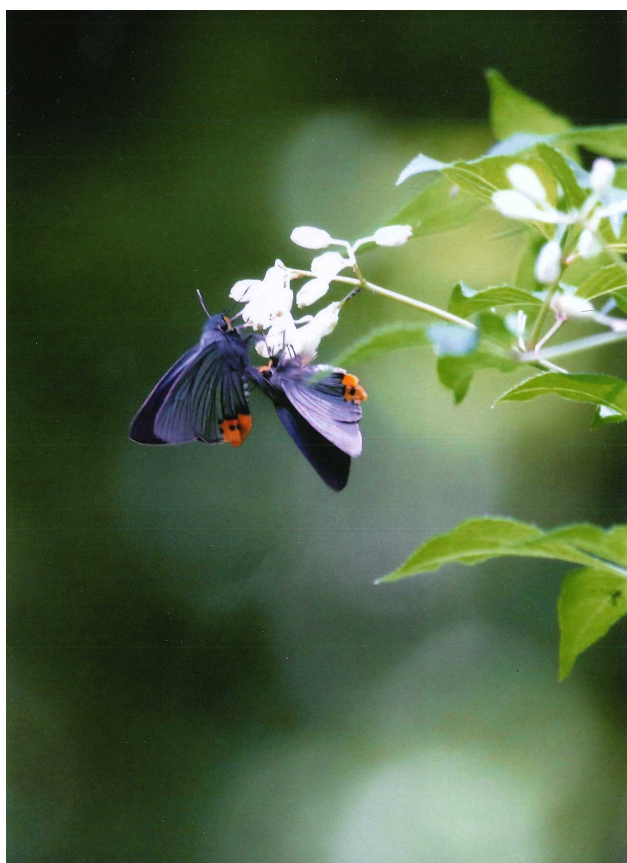
# Forest 通信

H26

6

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.305

## 巻頭 photo 高尾山の生きものたち



### アオバセセリ(セセリチョウ科)

チョウファンはそれぞれに憧れのチョウを探し求めて日々フィールドを訪ねます。その中でも多くのファンを引き付けているのがアオバセセリです。

5月から8月にかけて高尾山一帯で観察できますが、その生息数が少ないため、なかなかお目にかかるのが難しいチョウです。

それだけに出会った時の感激はひとしおで、掲載写真のように2頭(チョウの単位)の時などは嬉しさと感激で興奮状態になります。

それにしても、今春のチョウ特にアゲハ類の少なさには驚きです。例年ならツツジに吸蜜に来るアゲハ類が見られましたが、今年はその優美な姿を見ることがほとんどありませんでした。どうしたのでしょうか？心配です！

(写真・文 大作栄一郎氏)

## いろはの森

陽気がよくなり暑さも感じるようになってきた。少し前まで長袖で過ごしていたのがうそのようだ。山の様子も葉が落ちて茶色が主体だったものが、圧倒されるような緑色に変化している。庭の草の勢いも増してきた。まめに抜いているはずなのに、数日すると同じところや周辺から再び芽を出している。そのしつこさにあきれるが、同時に感心する。雑草という草はないそうだが、この力強さを人生になぞらえた言葉が流行ることも、この様子を見てみると、うまく表現しているなと思う。

目下のところ、子どもに草の花がきれいだといいいながら、抜いてしまう矛盾をどう説明していいかが悩みだが、自然の力というか季節に応じて着実に成長していく植物の姿には、感心するしかない。(い)



(イナモリソウ)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための活動を行っています。

## 森林カレッジ I 森林の見方

平成26年度第1回森林カレッジを5月24日(土)に実施しました。今年は31名の応募がありました。

午前の部として森林・自然環境技術者教育会会長の桜井尚武(さくらいしょうぶ)先生による「森林の見方」についての講義を行いました。森林の歴史や生態学など幅広い話に参加者は熱心にメモを取っていました。質問の受け答えの様子から、森林・林業に関する関心の高さがうかがえました。

午後は高尾山稲荷山コースを樹木や森林土壌など森林について多くのことを学びながら散策しました。気温も高く足場の悪い箇所もあり、また多くのハイカーとすれ違いながらでしたが、フォレストサポートスタッフの方のサポートもあり無事全員山頂まで登りきりました。参加者からは「先生の話は何から何まで新鮮でした」「非常に内容が濃く興味深かった」「先生の解説は生きた学習になった」等の感想がよせられ好評のうちに終了することができました。



新設!

## 作文コンクールコーナー

高尾森林ふれあい推進センターでは、小学校からの依頼を受け、森林教室等を開催していますが、その際生徒さんに作文コンクールへの参加をお願いしています。このコンクールは、森林教室や林業体験などを通じて森林・林業について感じたことを作文にまとめてもらうもので、主催は一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所です。

当センターでは、今年度で18回目を迎えるこのコンクールの特設コーナーを設けました。第1回目からの過去の作品集を読むことができますので、どうぞお気軽に1階展示室にお越しください。



## 森林教室

### 保育園児の森林教室

気持ちの良い風が吹いた5/12(月)、三鷹市にある保育園にて出前森林教室を実施しました。元気いっぱいの保育園児25名はさっそく森の働きについてわかりやすくまとめたアニメの映像を見て、ユーモラスな動きの森の動物たちに楽しそうに歓声をあげました。

森について勉強した後はお楽しみの丸太切り体験です。ノコギリを持つのはみな初めてで、おそろおそろ細い腕で丸太を切り始めますが、飲み込みが早いのですぐにコツをつかみ、上手に切り落とした輪切りを見せあいっこしていました。

丸太切りの次はキーホルダー作りです。森林センターであらかじめ用意した輪切りにカラーペンで思い思いのイラストを描きました。家族へのお土産にするのだと嬉しそうに笑う子どもたちの姿にすっかり癒やされたセンター職員。ちょっぴり若返ったような気がした帰り道でした。



## 森林教室

### 横浜市立谷本小学校

5月21日(水)から5月23日(金)にかけ、横浜市立谷本小学校5年生78名が大平国有林にある森林ふれあい館に森林教室にやってきました。

1日目は朝からあいにくの雨。しかし午後からの森林散策では普段あまり表に出てこないクガビルやサワガニなどを見ることができ、雨の日ならではの楽しみ方ができました。

2日目は日影沢園地に移動して炭焼体験です。ドラム缶窯と伏せ窯を使って竹炭を仕込みました。なかなか火が安定せず交代でうちわで扇ぎ、みなヘトヘトに。おやつ焼き芋の甘さが疲れた体にしみたようです。

最終日はいよいよ窯出しです。ちょっと不安でしたが思いのほかよくできた竹炭にみな笑顔に。クラスごとに袋詰めし、大事そうに抱えていました。

閉会式ではなんと、生徒さん1人1人のメッセージが入った寄せ書きをいただき、センター職員並びにFSスタッフ一同感激しました。3日間の森林教室お疲れ様でした！



information 参加者募集中!

## 夏休みの1日を親子で!

### 木下沢の溪流ジャブジャブ歩き



親子で溪流をジャブジャブ歩いて、木下沢に生息するたくさんの生物を探しに行こう!

**と き** 平成26年7月19日(土)・7月20日(日)  
(同じ内容で2回開催します)

**集 合** JR 高尾駅北口改札前 8:45

**解 散** 大下バス停 15:00頃予定

**実 施** 森林インストラクター東京会

**募集人員** 親子50名(子どもは小学生以上。応募者多数の場合は抽選)

**参加費** 大人1,700円、子ども500円  
(バス代は個人負担)

**持ち物** 昼食、飲み物、雨具、タオル、軍手、大きめのレジ袋、敷物、着替え

**服 装** 活動しやすい服(長袖・長ズボン)、帽子、歩きやすい靴(水に入る際はサンダル不可)

**備 考** 小雨決行。荒天予想で中止の場合は前日に連絡します。

#### 申込方法

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「木下沢の溪流ジャブジャブ歩き」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成26年7月5日(土)必着

#### 編集後記

ジメジメするこの季節、雨が降るとアクティブに動き出す生きものがあります。ナメクジ、カタツムリ、クガビル、巨大ミズなど、ヌメとした生きものが好きな方は是非雨の高尾山にお越しください。(ま)

Forest通信 H26.6.1.No.305 4

information 参加者募集中!

## 爽快!夏の奥高尾

### 静寂のハイキング(中級向き)



高尾山の樹木を森林インストラクターと一緒に観察しながら、6kmのハイキングを楽しみましょう。

**と き** 平成26年7月14日(月)

**集 合** 京王線高尾山口駅改札前 9:00

**解 散** ケーブルカー高尾山駅付近 15:30頃

**実 施** 森林インストラクター東京会

**行 程** 稲荷山コース～大平林道～森林ふれあい館(昼食)～学習の歩道～高尾山頂～4号路

**募集人員** 30名(応募者多数の場合は抽選)

**参加費** 1,700円(交通費は個人負担)

**持ち物** 昼食、飲み物、登山靴、雨具、帽子、健康保険証、筆記用具等

**備 考** 荒天中止の場合は前日19時頃までに連絡します

#### 申込方法

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「7月14日静寂のハイキング」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成26年6月30日(月)必着

#### Forest通信 No.305

発行: 高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントの

お申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

